

○共同作業による環境維持活動

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県西予市 <small>かわづみなみかみ</small> 川津南上			
協定面積 20.8ha	田 (68%)	畑 (32%)	草地	採草放牧地
	水稲、ブロッコリー等	栗、柚子等		
交付金額 378万円	個人配分			54%
	共同取組活動 (46%)	役員手当		9%
		農道水路管理		27%
		鳥獣害対策費		9%
多面的機能増進活動費		0.5%		
	事務費		0.5%	
協定参加者	農業者43人、農業生産組織 1 組織			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

川津南上集落は、西予市旧城川町に位置する典型的な中山間地域で、高齢化が進行し、集落活動・農地保全管理が今後困難になることが考えられていた。

そのような中、荒廃していく農地の対策を協議した結果、共同作業による農地環境整備や農業所得の増加による意欲向上を図るため本制度に取り組むこととなった。また、3期対策からは、小規模・高齢化集落を取り込むとともに、組織対応型(川津南やちみる会)のC要件を選択し、高齢者でも協定に参加しやすい体制を整備している。

3. 取組の内容

毎年、年度当初に役員会を開催して共同作業の日程を決定し、農道・水路及び法面の草刈・点検、作業道の新設・補修、鳥獣害防止柵設置等について、協定内を3地区に分けて実施している。

また、『楽しむ農業』に取り組むため、休耕田へ景観作物の植栽や自作の案山子を設置するなどの活動も行っている。

農作業だけでなく、地域活動(お祭り・清掃)へも積極的に参加しており、地域住民間との交流も深めている。



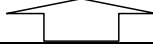
【役員会の様子】



【地区内農道の草刈り作業】

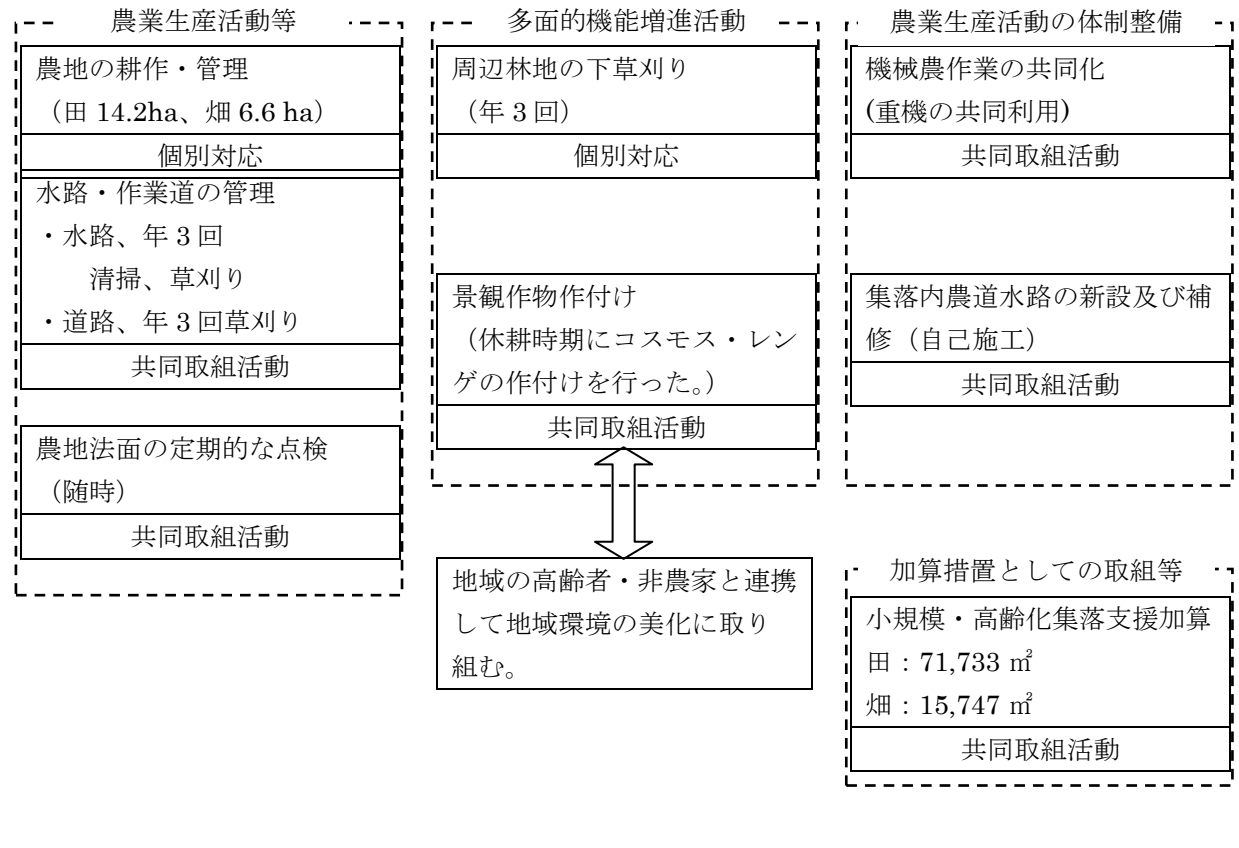
【集落の将来像】

活発な共同活動により、農業環境の整備を行い、耕作放棄による農地荒廃の防止を図る。また、稲作後には景観作物を植栽し、農地の有効利用・環境美化を行う。共同活動を通じて、地域での交流を深めていく。



【将来像を実現するための活動目標】

共同活動により、地域で協力して環境整備を図る。また、景観作物の植栽による環境美化・生産環境の改善に努め、集落環境を良くしていく。



4. 今後の課題等

当制度を活用した共同活動の取り組みにより、農道や水路を整備することができ、農産物の生産条件は改善されてきた。

また、協定参加者で協力して作業を行うことにより、交流が深まった。

農作業環境は改善されてきたが、高齢化は進行しており、このままでは現状の活動体制を維持していくことが困難になることが懸念される。そのため、今後は、非農業者の参画やこれから農業に従事する予定の定年退職者などとの連携が必要になるとと思われる。

【第 2 期対策の主な成果】

- 農道のコンクリート舗装 約12,000m
- 景観作物の植栽 約0.5ha